

# KHKからの お知らせ

## 「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」の開催について



企画部

危険物施設における保安設備等への新技術の活用を目的に、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」(第7回)のWEB開催について、お知らせします。

### 1 概要

近年、様々な分野で監視カメラ技術、ドローン技術、IoT技術等の新たな技術が活用されています。

今後、危険物施設においても、これらの新技術を活用した保安設備等の導入や普及が見込まれることから、人の目に替わる点検手段、データを用いた危険予兆など、大規模危険物施設等における維持管理や災害早期発見についての方策として、これらの新技術を活用した保安設備等について意見交換を図ります。

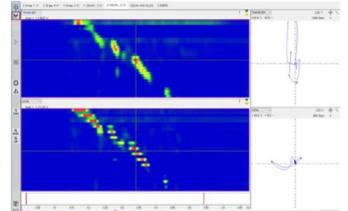
### 2 実施内容

(一社)日本非破壊検査工業会

「渦電流探傷試験(ET)によるコーティング上からの溶接線検査への適用に向けた調査報告と今後の展望について」

令和4年度から当協会は、渦電流探傷試験が特定屋外貯蔵タンクにおける検査手法の一つとして適用の可能性について調査を開始しました。(一社)日本非破壊検査工業会へ委託し、基礎データを採取した内容について、本研究会を通じて報告を行います。加えて今後の課題や展望についてご紹介します。

機器及び試験の概要と試験データのまとめ(約80分)  
試験データに対するQ&A(20分)  
今後の展望(10分)  
フリートーキング(10分)



写真提供元：日本工業検査(株)

### 3 開催日時

日時：令和5年5月中旬頃予定(詳細未定)

詳細は後日HPに掲載します。

※日程についてHP掲載前までに参加登録して頂いた方へは、決定し次第メールにてご連絡させていただきます。

#### 4 参加・傍聴方法

開催方法：WEB開催（Cisco Webex Meetings）

参加費：無料

弊会ウェブサイトの申込みフォームから必要事項を入力の上、お申込み下さい。

後日、招待メールを送付させていただきます。

「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」申込みフォームはこちら↓

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=lh-pcobt-66390289cec1b87773d560a50a260b32>

（危険物保安技術協会ホームページ⇒業務説明⇒調査研究⇒次回新技術を活用した保安設備等に関する研究会への申込みについて⇒[お申し込み](#) からでもお申込みできます。）

#### 5 過去の事例紹介

令和元年度から研究会を立ち上げ、計6回開催しました。

前回の実施内容は、株式会社ビーエヌテクノロジーによる「防爆型モバイル機器を使用した危険物施設における作業効率化と活用」について、多くの方にご参加いただき、機器の紹介とその現場での活用方法について、意見交換が行われました。

全参加者数157名

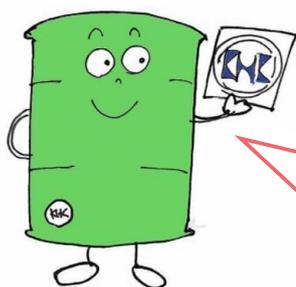
（消防関係機関、事業所関係、その他）

その他、過去6回の研究会発表内容について、協会ホームページでご紹介しています。

発表内容等の詳細についてはこちら <http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/research.html#ep01>

#### 6 その他

WEB開催のため、どなたでも参加・傍聴可能ですが、既定の人数を超えた場合、調整させていただく場合がございます。



##### 【お問い合わせ先】

危険物保安技術協会 企画課 陣鎌

T E L : 03-3436-2353 (～ R5.3.31)

03-3436-2356 (R5.4.1 ～)

F A X : 03-3436-2251

E-mail : [kikaku@khk-syoubou.or.jp](mailto:kikaku@khk-syoubou.or.jp)